



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 ショクブン
コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 章人
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 宮原 利彦 TEL 052-773-1011
定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,839	2.8	230	37.7	194	16.9	194	115.3
2020年3月期	6,655	6.3	167		166		90	

(注) 包括利益 2021年3月期 238百万円 (163.4%) 2020年3月期 90百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	19.32		13.8	3.6	3.4
2020年3月期	9.39		19.9	3.0	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,859	2,311	39.4	149.72
2020年3月期	4,865	497	10.2	51.84

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,311百万円 2020年3月期 497百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	388	619	530	2,101
2020年3月期	160	1,298	1,416	563

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,335	2.1	55	6.5	65	5.7	40	3.4	2.61
通期	7,000	2.4	255	11.1	277	42.8	227	17.3	14.76

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	17,691,669 株	2020年3月期	11,856,669 株
期末自己株式数	2021年3月期	2,253,230 株	2020年3月期	2,253,098 株
期中平均株式数	2021年3月期	10,052,335 株	2020年3月期	9,603,665 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,827	2.8	214	41.6	193	1.9	186	33.9
2020年3月期	6,644	6.3	151		197		139	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	18.58	
2020年3月期	14.52	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,748	2,218	38.6	143.73
2020年3月期	4,828	456	9.5	47.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,218百万円 2020年3月期 456百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,330	2.2	46	8.6	66	10.9	44	6.5	2.87
通期	6,991	2.4	238	11.5	271	40.1	226	21.1	14.64

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
(販売の状況)	12
(開示の省略)	12
4. 個別財務諸表及び主な注記	13
(1) 貸借対照表	13
(2) 損益計算書	15
(3) 株主資本等変動計算書	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、お客様に一家団らんの楽しい食卓を囲んでいただくべく魅力的なメニューを基に安全・安心で美味しい食材をお届けすることで、満足度の高いサービスのご提供に努めております。

当連結会計年度におきましては、主力メニューの商品売上高は62億22百万円（前年度比103.0%）、特売商品売上高については、6億16百万円（前年度比100.2%）になりました。

拠点の統廃合により製造にかかるコストは削減されましたが、夏場の低温、日照不足による野菜の発育不足や巣籠り消費による需要が増加したことで野菜の仕入価格が上昇し、売上原価率は59.8%と前年度の59.6%に比べて0.2ポイント増加いたしました。

また、販売費及び一般管理費は前年度より3百万円減少し、25億16百万円になりました。この主な理由は、テレビCMやチラシ配布及びリスティング広告等のデジタル分野へのマーケティング費用は増加しましたが、営業所の統廃合により人件費や賃借料等が減少したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高が68億39百万円（前年度比102.8%）、経常利益は1億94百万円（前年度比116.9%）となりました。また、拠点の統廃合及び経営効率の向上を目的とし、ゴルフ会員権の解約方針によるゴルフ会員権評価損17百万円、商圏からの撤退を意思決定した支社の一部の資産について減損損失17百万円を計上しました。さらに、法人税、住民税及び事業税28百万円、法人税等調整額△69百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は1億94百万円（前年度比215.3%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

資産の部では、第三者割当増資による資金調達により現金及び預金が15億7百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ9億94百万円増加の58億59百万円になりました。

② 負債

負債の部では、長期借入金が5億63百万円等が増加しましたが、短期借入金が12億75百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億25百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ8億19百万円減少の35億48百万円になりました。

③ 純資産

純資産の部では、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ7億87百万円、利益剰余金が1億94百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ18億13百万円増加の23億11百万円になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億37百万円増加し、21億1百万円になりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、増加した資金は3億88百万円（前連結会計年度は1億60百万円の増加）になりました。これは、税金等調整前当期純利益1億52百万円、減価償却費95百万円等を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、増加した資金は6億19百万円（前連結会計年度は12億98百万円の増加）になりました。これは、有形固定資産の取得による支出45百万円等がありましたが、有形固定資産の売却による収入6億42百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、増加した資金は5億30百万円（前連結会計年度は14億16百万円の減少）になりました。これは、主に短期借入金の減少12億75百万円がありましたが、第三者割当増資による収入15億50百万円、長期借入れによる収入13億円等により資金が増加したことによるものであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	6.7	10.2	39.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	33.3	54.7	77.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	—	22.8	7.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	6.3	19.9

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値によっており、以下の算式で算定しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
5. 2019年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)及びインタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)は営業キャッシュ・フローがマイナスのため、省略しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たず、国内経済のみならず、世界経済の減速等が引き続き懸念されることから、景気の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、政府による3度目の緊急事態宣言が当社の拠点である愛知県にも発令され、感染拡大の収束は未だ見通せない状況にあります。また、個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費マインドの低下、節約志向の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは2021年3月4日の第三者割当増資により、株式会社神明ホールディングスの連結子会社となったことに伴い、両社におけるシナジーを最大限に発揮できると考えております。具体的には、①競合他社に対抗できる商品力・サービスの強化、②物流効率の向上、③信用力の向上の3点です。

また、人々のライフスタイルが変化し、ニーズが多様化していく中で、デジタルマーケティングの重要性が高まってきております。従来型のテレビCMやチラシの配布によるマス広告に加え、SNSのフォロワー獲得企画の実施、アプリの利用促進キャンペーンや、インターネットにおけるリスティング広告等のデジタル広告を増やし、当社の認知度をあげるとともに、新規顧客獲得につなげてまいります。

翌連結会計年度(2022年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高70億円(前期比2.4%増)、営業利益2億55百万円(前期比11.1%増)、経常利益2億77百万円(前期比42.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億27百万円(前期比17.3%増)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの収束時期、その後の景気や個人消費に与える影響を含め予断を許さない状況が続きますが、当社グループでは、引き続き、お客様や従業員の安全を第一に考え、衛生管理など感染拡大防止対策に万全を期すとともに、企業価値の向上に向けて、全従業員一丸となって取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,708	2,101,482
売掛金	42,499	77,114
原材料及び貯蔵品	95,222	87,164
その他	41,421	23,730
貸倒引当金	△1,007	△109
流動資産合計	771,844	2,289,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,973,326	1,814,938
減価償却累計額	△1,421,393	△1,324,891
建物及び構築物 (純額)	551,933	490,047
機械装置及び運搬具	29,855	32,873
減価償却累計額	△27,215	△30,457
機械装置及び運搬具 (純額)	2,639	2,416
工具、器具及び備品	196,378	193,858
減価償却累計額	△193,176	△181,782
工具、器具及び備品 (純額)	3,202	12,076
土地	2,998,745	2,395,417
リース資産	181,867	288,297
減価償却累計額	△29,085	△75,674
リース資産 (純額)	152,782	212,622
有形固定資産合計	3,709,303	3,112,580
無形固定資産		
投資その他の資産	35,383	39,505
投資有価証券	7,504	7,504
退職給付に係る資産	234,841	311,503
繰延税金資産	-	7,182
その他	106,636	92,096
投資その他の資産合計	348,982	418,286
固定資産合計	4,093,670	3,570,372
資産合計	4,865,515	5,859,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,364	286,060
短期借入金	2,525,030	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	370,940	145,392
リース債務	62,435	59,524
未払法人税等	23,400	43,828
未払消費税等	8,741	64,546
賞与引当金	29,650	36,000
資産除去債務	2,500	-
ポイント引当金	10,912	14,449
その他	285,540	293,608
流動負債合計	3,582,514	2,193,411
固定負債		
長期借入金	538,863	1,101,944
リース債務	152,922	200,196
繰延税金負債	71,735	28,369
資産除去債務	20,921	23,736
その他	670	628
固定負債合計	785,112	1,354,874
負債合計	4,367,627	3,548,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,935,735
資本剰余金	1,488,141	2,275,866
利益剰余金	△1,025,259	△831,027
自己株式	△1,111,231	△1,111,275
株主資本合計	499,661	2,269,298
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,773	42,171
その他の包括利益累計額合計	△1,773	42,171
純資産合計	497,887	2,311,470
負債純資産合計	4,865,515	5,859,755

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,655,301	6,839,024
売上原価	3,968,351	4,092,405
売上総利益	2,686,950	2,746,619
販売費及び一般管理費	2,519,854	2,516,447
営業利益	167,095	230,171
営業外収益		
受取利息	1,339	29
受取配当金	4,440	-
受取手数料	11,054	31,975
固定資産受贈益	8,451	-
その他	8,764	3,522
営業外収益合計	34,051	35,526
営業外費用		
支払利息	25,341	19,284
株式交付費	-	41,589
支払手数料	6,389	7,451
その他	3,006	2,771
営業外費用合計	34,737	71,096
経常利益	166,409	194,602
特別利益		
固定資産売却益	158,987	3,819
投資有価証券売却益	14,688	-
特別利益合計	173,676	3,819
特別損失		
減損損失	210,440	17,975
投資有価証券売却損	38,505	-
固定資産売却損	-	10,007
ゴルフ会員権評価損	-	17,547
特別損失合計	248,945	45,530
税金等調整前当期純利益	91,140	152,891
法人税、住民税及び事業税	36,106	28,584
法人税等調整額	△35,174	△69,924
法人税等合計	932	△41,340
当期純利益	90,207	194,231
親会社株主に帰属する当期純利益	90,207	194,231

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	90,207	194,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,809	-
退職給付に係る調整額	△28,578	43,945
その他の包括利益合計	231	43,945
包括利益	90,439	238,176
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	90,439	238,176

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,148,010	1,488,141	△1,115,467	△1,111,208	409,475	△28,809	26,804	△2,005	407,470
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純利益			90,207		90,207				90,207
自己株式の取得				△34	△34				△34
自己株式の処分				12	12				12
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						28,809	△28,578	231	231
当期変動額合計	—	—	90,207	△22	90,185	28,809	△28,578	231	90,417
当期末残高	1,148,010	1,488,141	△1,025,259	△1,111,231	499,661	—	△1,773	△1,773	497,887

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,148,010	1,488,141	△1,025,259	△1,111,231	499,661	△1,773	△1,773	497,887
当期変動額								
新株の発行	787,725	787,725			1,575,450			1,575,450
親会社株主に帰属する 当期純利益			194,231		194,231			194,231
自己株式の取得				△44	△44			△44
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						43,945	43,945	43,945
当期変動額合計	787,725	787,725	194,231	△44	1,769,637	43,945	43,945	1,813,582
当期末残高	1,935,735	2,275,866	△831,027	△1,111,275	2,269,298	42,171	42,171	2,311,470

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	91,140	152,891
減価償却費	79,649	95,351
減損損失	210,440	17,975
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,349	6,349
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,496	△897
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△10,347	△13,340
受取利息及び受取配当金	△5,779	△29
支払利息	25,341	19,284
株式交付費	—	41,589
ゴルフ会員権評価損	—	17,547
投資有価証券売却損益 (△は益)	23,816	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△158,987	6,188
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,919	△34,614
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,025	8,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,933	22,696
未払金の増減額 (△は減少)	△39,939	4,986
前受金の増減額 (△は減少)	59,009	△17,366
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	10,912	3,537
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,727	67,313
その他	△54,633	25,727
小計	213,543	423,249
利息及び配当金の受取額	6,399	30
利息の支払額	△25,412	△19,523
法人税等の支払額	△34,156	△15,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,374	388,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	—
定期預金の払戻による収入	257,516	30,071
有形固定資産の取得による支出	△217,127	△45,336
有形固定資産の売却による収入	1,145,773	642,945
無形固定資産の取得による支出	△8,744	△7,867
投資有価証券の取得による支出	△6,997	—
投資有価証券の売却による収入	153,261	—
差入保証金の回収による収入	7,712	6,447
その他	△3,266	△7,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,298,128	619,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△464,970	△1,275,030
長期借入れによる収入	-	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△897,430	△962,467
リース債務の返済による支出	△54,398	△82,230
自己株式の取得による支出	△34	△44
自己株式の売却による収入	12	-
株式の発行による収入	-	1,550,346
配当金の支払額	△56	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,416,878	530,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,624	1,537,845
現金及び現金同等物の期首残高	521,972	563,597
現金及び現金同等物の期末残高	563,597	2,101,443

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	51.84円	149.72円
1株当たり当期純利益	9.39円	19.32円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	90,207	194,231
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	90,207	194,231
普通株式の期中平均株式数(株)	9,603,665	10,052,335

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	497,887	2,311,470
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	497,887	2,311,470
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,603,571	15,438,439

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(販売の状況)

商品別	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	金額 千円	前年度比 %	金額 千円	前年度比 %
メニュー商品	6,040,220	94.0	6,222,770	103.0
特売商品	615,081	90.9	616,254	100.2
計	6,655,301	93.7	6,839,024	102.8

(開示の省略)

上記以外の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	481,201	2,015,617
売掛金	41,436	75,930
原材料及び貯蔵品	93,594	83,579
前払費用	18,150	19,698
その他	22,735	1,462
貸倒引当金	△1,007	△109
流動資産合計	656,111	2,196,179
固定資産		
有形固定資産		
建物	541,562	472,069
構築物	10,254	17,877
機械及び装置	534	413
車両運搬具	2,105	2,002
工具、器具及び備品	2,870	11,877
土地	2,972,615	2,395,417
リース資産	152,782	212,622
有形固定資産合計	3,682,726	3,112,280
無形固定資産		
借地権	5,999	5,999
ソフトウェア	3,297	8,312
その他	25,722	24,829
無形固定資産合計	35,019	39,141
投資その他の資産		
投資有価証券	7,504	7,504
関係会社株式	105,171	55,171
出資金	166	166
前払年金費用	236,142	247,150
その他	105,846	91,306
投資その他の資産合計	454,830	401,297
固定資産合計	4,172,576	3,552,720
資産合計	4,828,687	5,748,899

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,772	285,226
短期借入金	2,525,030	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	370,940	145,392
リース債務	62,435	59,524
未払金	102,509	123,090
未払費用	102,499	104,300
未払法人税等	23,464	43,828
未払消費税等	9,445	62,187
前受金	75,883	58,517
預り金	7,141	6,472
賞与引当金	29,650	36,000
資産除去債務	2,500	—
ポイント引当金	10,912	14,449
その他	1,245	4,723
流動負債合計	3,585,429	2,193,713
固定負債		
長期借入金	538,863	1,101,944
リース債務	152,922	200,196
繰延税金負債	73,134	9,774
資産除去債務	20,921	23,736
その他	670	628
固定負債合計	786,512	1,336,279
負債合計	4,371,941	3,529,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,935,735
資本剰余金		
資本準備金	211,806	999,531
その他資本剰余金	1,276,335	1,276,335
資本剰余金合計	1,488,141	2,275,866
利益剰余金		
利益準備金	115,004	115,004
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,183,179	△996,424
利益剰余金合計	△1,068,174	△881,419
自己株式	△1,111,231	△1,111,275
株主資本合計	456,745	2,218,906
純資産合計	456,745	2,218,906
負債純資産合計	4,828,687	5,748,899

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,644,071	6,827,475
売上原価	3,973,281	4,097,903
売上総利益	2,670,790	2,729,572
販売費及び一般管理費	2,519,444	2,515,342
営業利益	151,345	214,229
営業外収益		
受取利息及び配当金	50,779	12,624
受取手数料	13,454	34,375
固定資産受贈益	8,451	-
その他	7,950	3,340
営業外収益合計	80,636	50,341
営業外費用		
支払利息	25,341	19,284
株式交付費	-	41,589
支払手数料	6,389	7,451
その他	2,956	2,768
営業外費用合計	34,687	71,093
経常利益	197,295	193,477
特別利益		
固定資産売却益	158,987	3,819
投資有価証券売却益	14,688	-
特別利益合計	173,676	3,819
特別損失		
減損損失	204,657	17,975
投資有価証券売却損	38,505	-
固定資産売却損	-	10,007
ゴルフ会員権評価損	-	17,547
特別損失合計	243,162	45,530
税引前当期純利益	127,808	151,766
法人税、住民税及び事業税	23,529	28,371
法人税等調整額	△35,180	△63,359
法人税等合計	△11,650	△34,988
当期純利益	139,459	186,755

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	84,322	△1,406,961	△1,207,634
当期変動額								
当期純利益							139,459	139,459
固定資産圧縮積立金の取崩						△84,322	84,322	—
自己株式の取得								
自己株式の処分								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△84,322	223,781	139,459
当期末残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	—	△1,183,179	△1,068,174

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,111,208	317,308	△28,809	△28,809	288,498
当期変動額					
当期純利益		139,459			139,459
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
自己株式の取得	△34	△34			△34
自己株式の処分	12	12			12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			28,809	28,809	28,809
当期変動額合計	△22	139,437	28,809	28,809	168,246
当期末残高	△1,111,231	456,745	—	—	456,745

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰 余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	△1,183,179	△1,068,174
当期変動額							
新株の発行	787,725	787,725		787,725			
当期純利益						186,755	186,755
自己株式の取得							
当期変動額合計	787,725	787,725	-	787,725	-	186,755	186,755
当期末残高	1,935,735	999,531	1,276,335	2,275,866	115,004	△996,424	△881,419

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△1,111,231	456,745	456,745
当期変動額			
新株の発行		1,575,450	1,575,450
当期純利益		186,755	186,755
自己株式の取得	△44	△44	△44
当期変動額合計	△44	1,762,160	1,762,160
当期末残高	△1,111,275	2,218,906	2,218,906

2021年3月期 決算短信(発表資料の要約)

当社の2021年3月期決算につきまして、配布の決算短信のとおり発表させていただきます。

1. 業績について

イ 当連結会計年度及び当事業年度の業績

	(連結)		(個別)	
		前年度比		前年度比
売上高	68億39百万円	102.8%	68億27百万円	102.8%
営業利益	2億30百万円	137.7%	2億14百万円	141.6%
経常利益	1億94百万円	116.9%	1億93百万円	98.1%
当期純利益	1億94百万円	215.3%	1億86百万円	133.9%
1株当たり当期純利益	19円32銭		18円58銭	

(注) 当社の連結対象子会社は、株式会社食文化研究所の1社であります。

- ① 売上高は68億39百万円になり、当期売上高は前期に比べ2.8%増加いたしました。
- ② 経常利益は1億94百万円(前年度比116.9%)となりました。拠点の統廃合により製造にかかるコストは削減されましたが、夏場の低温、日照不足による野菜の発育不足や巣籠り消費による需要が増加したことで野菜の仕入価格が上昇し、売上原価率は59.8%と前年度の59.6%に比べて0.2ポイント増加いたしました。また、テレビCMやチラシ配布によるリスティング広告等のデジタル分野へのマーケティング費用は増加しましたが、営業所の統廃合により人件費や賃借料等が減少したことにより、販売費及び一般管理費は3百万円減少いたしました。
- ③ 親会社株主に帰属する当期純利益は1億94百万円(前年度比215.3%)となりました。拠点の統廃合及び経営効率の向上を目的とし、ゴルフ会員権の解約方針によるゴルフ会員権評価損17百万円、商圏からの撤退を意思決定した支社の一部の資産について減損損失17百万円を計上しました。また、法人税、住民税及び事業税28百万円、法人税等調整額△69百万円を計上したことによるものです。

ロ 翌連結会計年度および翌事業年度の業績予想

	(連結)		(個別)	
		前年同期比		前年同期比
第2四半期累計期間				
売上高	33億35百万円	102.1%	33億30百万円	102.2%
営業利益	55百万円	93.5%	46百万円	91.4%
経常利益	65百万円	94.3%	66百万円	89.1%
当期純利益	40百万円	103.4%	44百万円	93.5%
通期		前年度比		前年度比
売上高	70億00百万円	102.4%	69億91百万円	102.4%
営業利益	2億55百万円	111.1%	2億38百万円	111.5%
経常利益	2億77百万円	142.8%	2億71百万円	140.1%
当期純利益	2億27百万円	117.3%	2億26百万円	121.1%
1株当たり当期純利益	14円76銭		14円64銭	

2. 株主還元策について

イ 配当金

当期	当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますと存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
次期予定	無配とさせていただきます。

ロ 株主優待策

毎年3月31日現在の当社株式1千株以上所有の株主に対し、6千円相当の製品を進呈いたします。

3. 財政状態について

財政状態は、決算短信2ページ「1. 経営成績等の概況（2）当期の財政状態の概況」に記載のとおりであります。

自己資本比率は、前期末の10.2%から39.4%になりました。この主な理由は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が増加したこと等により、純資産が23億11百万円に増加したことによるものです。

4. 設備投資について

当期	設備金額	1億67百万円 主なものは リース資産 その他	1億19百万円 47百万円
	減価償却費	93百万円	
次期予想	設備金額	3億00百万円 主なものは 建物 リース資産 その他	1億70百万円 60百万円 70百万円
	減価償却費	1億1百万円	

5. 今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症収束時期の見通しが立たず、国内経済のみならず、世界経済の減速等が引き続き懸念されることから、景気の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、政府による3度目の緊急事態宣言が当社の拠点である愛知県にも発令され、感染拡大の収束は未だ見通せない状況にあります。また、個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費マインドの低下、節約志向の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは2021年3月4日の第三者割当増資により、株式会社神明ホールディングスの連結子会社となったことに伴い、両社におけるシナジーを最大限に発揮していきたいと考えております。具体的には、①競合他社に対抗できる商品力・サービスの強化、②物流効率の向上、③信用力の向上の3点です。

また、人々のライフスタイルが変化し、ニーズが多様化していく中で、デジタルマーケティングの重要性が高まってきております。従来型のテレビCMやチラシの配布によるマス広告に加え、SNSのフォロワー獲得企画の実施、アプリの利用促進キャンペーンや、インターネットにおけるリスティング広告等のデジタル分野におけるマス広告を増やし、当社の認知度をあげるとともに、新規顧客獲得につなげてまいります。

翌連結会計年度（2022年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高70億円（前期比2.4%増）、営業利益2億55百万円（前期比11.1%増）、経常利益2億77百万円（前期比42.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億27百万円（前期比17.3%増）を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの収束時期、その後の景気や個人消費に与える影響を含め予断を許さない状況が続きますが、当社グループでは、引き続き、お客様や従業員の安全を第一に考え、衛生管理など感染拡大防止対策に万全を期すとともに、企業価値の向上に向けて、全従業員一丸となって取り組んでまいります。

以上